

市民憲章推進協議会の活動を紹介

他市の状況を学び、今後の推進に生かす

他市への視察研修を終えて

市民憲章推進協議会では、市民憲章の組織や運営について他市の状況を知るため、協議会役員による視察研修を4年前から実施してきました。

これまで、恵庭市や函館市、千歳市、江別市などを訪問しましたが、いずれの市も、市役所担当部局と推進協議会との連携が図られ、事業が絶え間なく推進されていることを学び、今後の運営に生かす工夫が必要であると認識を新たにしました。

平成23年度は江別市を訪問しましたが、同市の協議会は『住みよい環境づくり』を柱に、全市一斉での清掃日や草刈りの日などを設け、自治会連絡協議会と市民憲章推進協議会とが連携し実施しているほか、緑の募金活動には市長も参加し、街頭で協力を呼び掛けるなど、地域によって体制の違いがあることなどを学びました。

また、小・中学生を対象にした啓発活動は、登別市も実施していますが、役員の動員力や方法によって、予算の伴う活動もあるなど、多彩な活動の工夫が見られるなど今後の参考となりました。

一方、唱えるだけではなく生活の中で生かされる市民憲章にするためには、どのように啓発を推進していけばよいのかなど、各協議会とも難問を抱えており、その解決のための情報を交換するなど有意義な研修会となりました。



文字が薄れているものなどを点検 市民憲章掲示板の 点検作業を実施しました



昨年7月に、市内の各公共施設20カ所に設置されている市民憲章掲示板の現状を点検調査しました。

その結果、設置後の経年劣化で文字が薄れているものや全く見えないもの、樹木などの成長で見えにくくなり改善を必要とするものなどが多数見られたため、その結果を市に報告しました。

また、掲示板が未設置となっている市民プールなどの比較的新しい公共施設への新設について、今後、市と協議をしていきます。

市内の小学4年生に配布 クリアファイルを作成



啓発活動の一環として、市民憲章文と市の花（キク）・市の花木（ツツジ）・市木（プラタナス）を刷したクリアファイルを作成。市内全小学校の4年生と小学校の全教職員などに配布しました。

次代を担う子どもたちが、このファイルの活用を通して、市民の心構えと憲章の精神である健康で心豊かな人間性や、自然を愛し平和を願い、明るく住みよいまちづくりの心が育つことを期待しています。